

7.12

一化時三

「河川大事に」アユ稚魚放流

小丸川漁業協同組合（前田和則代表理事）は5日、高鍋



町の小丸大橋下でアユの稚魚350匹を放流した。

同組合職員に加え、同町北高鍋・富越地区の子どもたち約10人も参加。組合員らがトラックに積んだいけすからホースを使って川に放流し、最後には子どもたちもホースを持って手伝った。写真。

中には、生魚に初めて触れる児童もあり、歓喜を上げ和気あいあいと作業した。前田代表理事（62）は「子どもたちが川の生き物に親しんでくれて何より」と話していた。

放流は、河川愛護の意識を高めてほしいと毎年実施。同組合は4月にアユの稚魚を420匹、小丸川に放っている。